

カ ばれいしょの作柄概要

年産	作 柄 概 要
平成 1 8	○<u>作付面積</u>は8万6,600haで、前年並み。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,040kgで、前年産を4％下回る。 ○<u>収穫量</u>は263万5,000tで、前年産に比べ11万7,000t（前年産対比4％）減少。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万3,600haで、前年産並み。10a 当たり収量は3.100kgで、前年産を4％下回った。これは、北海道で7月下旬から8月上旬の少雨と、8月以降の高温により生育が停滞したためである。この結果、収穫量は259万tで、前年産に比べて12万2,000t 減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,930haで、前年産に比べて40ha（同1％）増加。10a 当たり収量は1,560kgで、前年産を11％上回った。これは、長崎県等で台風第13号の強風により茎葉の損傷があったものの、その後天候に恵まれ生育が順調に推移したためである。この結果、収穫量は4万5,700tで、前年産に比べて5,100t（同13％）増加。
1 9	○<u>作付面積</u>は8万7,400haで、前年産に比べて800ha（1％）増加 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,290kgで、前年産に比べて8％上回った。 ○<u>収穫量</u>は287万3,000tで、前年産に比べて23万8,000t（9％）増加。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万4,500haで、前年産に比べて900ha（1％）増加。10a 当たり収量は3,350kgで、前年産を8％上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。この結果、収穫量は282万8,000tで、前年産で比べて23万6,000t（11％）増加。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,890haで、前年産に比べて40ha（1％）減少。10a 当たり収量は1,540kgで、前年産を1％下回った。この結果、収穫量は4万4,400tで、前年産に比べて1,300t（3％）減少。
2 0	○<u>作付面積</u>は8万4,900haで、前年産に比べて2,500ha（3％）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,230kgで、前年産に比べて2％下回った。 ○<u>収穫量</u>は274万2,000tで、前年産に比べて13万0,000t（5％）減少。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万2,000haで、前年産に比べて2,500ha（3％）減少。10a 当たり収量は3,230kgで、前年産を2％下回った。これは、7月の日照不足、8月～9月の降雨不足などの影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は269万7,000tで、前年産で比べて13万1,000t（5％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,880haで、前年産並み。10a 当たり収量は1,600kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて4％上回った。この結果、収穫量は4万6,100tで、前年産に比べて1,700t（4％）増加。

年産	作 柄 概 要
2 1	○<u>作付面積</u>は8万3,100haで、前年産に比べて1,800ha（2％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は2,960kgで、前年産に比べて8％下回った。 ○<u>収穫量</u>は245万9,000 t で、前年産に比べて28万4,000 t （10％）減少。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万300haで、前年産に比べて1,700ha（2％）減少。10 a 当たり収量は3,000kgで、前年産を9％下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は241万2,000 t で、前年産で比べて28万5,000 t （11％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,820haで、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったことから、前年産に比べて50ha（2％）減少。10 a 当たり収量は1,660kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて3％上回った。この結果、収穫量は4万6,700 t で、前年産に比べて600 t （2％）減少。
2 2	○<u>作付面積</u>は8万2,500haで、前年産に比べて600ha（1％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は2,780kgで、前年産に比べて6％下回った。 ○<u>収穫量</u>は229万 t で、前年産に比べて16万9,000 t （7％）減少。 ○季節分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は7万9,600haで、前年産に比べて700ha（1％）減少。10 a 当たり収量は2,810kgで、前年産を6％下回った。これは、春先の低温や、7月中旬以降の高温・多雨の影響により着いも数が少なくなったことに加え、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は223万7,000 t で、前年産で比べて17万5,000 t （7％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,930haで、主産地である長崎県及び鹿児島県において他野菜からの転換等があったことから、前年産に比べて110ha（4％）増加。10 a 当たり収量は1,800kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて8％上回った。この結果、収穫量は5万2,800 t で、前年産に比べて6,100 t （13％）増加。
2 3	○<u>作付面積</u>は8万1,000haで、前年産に比べて1,500ha（2％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は2,950kgで、前年産に比べて6％上回った。 ○<u>収穫量</u>は238万7,000 t で、前年産に比べて9万7,000 t （4％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万3,100haで、前年産に比べて1,000ha（2％）減少。10 a 当たり収量は3,470kgで作柄の悪かった前年産を3％上回ったものの、春先の降雨や、収穫時期の台風等の影響により収穫量は54万4,300 t で、平年収量比97％となった。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,900haで、前年産に比べて500ha（2％）減少。10 a 当たり収量は1,950kgで生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、作柄の悪かった前年産に比べて3％上回り収穫量は54万4,300 t で、平年収量比97％となった。

年産	作 柄 概 要
2 4	○<u>作付面積</u>は8万1,200haで、前年産並み。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,080kgで、前年産に比べて4%上回った。 ○<u>収穫量</u>は250万tで、前年産に比べて11万3,000t（5%）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万3,400haで、前年産並み。10a 当たり収量は3,630kgで前年産に比べて5%上回った。これは、6月から7月にかけて比較的天候に恵まれ、着いも数がやや多くなったこと等によるもので、収穫量は193万8,000tで、前年産に比べて9万5,000t（5%）増加した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,900haで、前年産並み。10a 当たり収量は2,010kgで生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて3%上回り、収穫量は56万1,800tで、平年収量比101%となった。
2 5	○<u>作付面積</u>は7万9,700haで、前年産に比べて1,500ha（2%）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,020kgで、前年産に比べて2%下回った。 ○<u>収穫量</u>は240万8,000tで、前年産に比べて9万2,000t（4%）減少。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万2,400haで、前年と比べて1,000ha減少した。一部地域で植付作業の遅れや7月の少雨の影響が見られたことなどから、規格内収量はやや低く、10a 当たり収量は3,580kgで前年産に比べて3%下回り、収穫量は187万6,000tで、前年産に比べて6万2,000t（3%）減少した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,200haで、前年産に比べて700ha（3%）減少。10a 当たり収量は1,960kgで、前年産に比べて2%下回った。収穫量は53万1,800tで、前年産に比べて3万t（5%）減少。
2 6	○<u>作付面積</u>は7万8,300haで、前年産に比べて1,400ha（2%）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,140kgで、前年産に比べて4%上回った。 ○<u>収穫量</u>は245万6,000tで、前年産に比べて4万8,000t（2%）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万1,500haで、前年と比べて900ha減少した。生育や収穫作業は平年より早く、降雨の影響により一部の地域で生育のばらつきが見られたものの、概ね順調に進んだ。10a 当たり収量は3,720kgで前年産に比べて4%上回り、収穫量は192万tで、前年産に比べて4万t（2%）増加した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万6,800haで、前年産に比べて400ha（1%）減少。10a 当たり収量は2,020kgで、前年産に比べて3%上回った。収穫量は54万tで、前年産に比べて1万5,000t（2%）増加。

年産	作 柄 概 要
2 7	○<u>作付面積</u>は7万7,400haで、前年産に比べて900ha（1％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は3,110kgで、前年産に比べて1％下回った。 ○<u>収穫量</u>は240万6,000 t で、前年産に比べて5万 t （2％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万1,000haで、前年と比べて500ha減少した。干ばつの影響があった一部地域を除き、全体的には生育は順調に進んだ。10 a 当たり収量は3,720kgで前年産並となり、収穫量は190万7,000 t で前年産に比べて9,000 t （0.5％）減少した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万6,400haで、前年産に比べて400ha（1％）減少。10 a 当たり収量は1,890kgで、前年産に比べて6％下回った。収穫量は50万 t で、前年産に比べて4万 t （8％）減少。
2 8	【春植え】 ○作付面積は7万4,600haで、前年産並み。 ○10 a 当たり収量は2,890kgで、前年産に比べて8％下回った。 これは、作付けの多い<u>北海道</u>において、6月の日照不足による影響によりいもの肥大が進まなかったことに加えて、<u>8月の台風に伴う大雨等により浸水・冠水等の被害が発生</u>。 ○<u>収穫量</u>は215万8,000 t で、前年産に比べて20万7,000 t （9％）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,670haで、前年産に比べ2％減少。 ○10 a 当たり収量は1,530kgで、前年産並み。 ○収穫量は4万800 t で、前年産に比べて1,000 t （2％）減少。
2 9	【春植え】 ○作付面積は7万4,400haで、前年産並み。 ○10 a 当たり収量は3,160kgで、前年産に比べて9％上回った。 これは、作付けの多い<u>北海道</u>において、概ね天候に恵まれ、台風による被害等のあった前年産を上回ったため。 ○<u>収穫量</u>は235万 t で、前年産に比べ19万2,000 t （9％）増加。 【秋植え】 ○作付面積は2,640haで、前年産に比べ1％減少。 ○10 a 当たり収量は1,520kgで、前年産に比べ1％下回った。 ○収穫量は4万100 t で、前年産に比べ700 t （2％）減少。

年産	作 柄 概 要
30	【春植え】 ○作付面積は7万4,000haで、前年産に比べ1%減少。 ○10a 当たり収量は2,990kgで、前年産に比べ5%下回った。 これは、作付けの多い北海道において、6月以降の天候不順により、着いも数が少なく、小玉傾向となったため。 ○収穫量は221万5,000tで、前年産に比べ14万t（6%）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,510haで、前年産に比べ5%減少。 これは長崎県において他野菜への転換やほ場整備のため作付休止があったこと等による。 ○10a 当たり収量は1,820kgで、前年産に比べ20%上回った。 これは、天候に恵まれ肥大が良好であったこと等による。 ○収穫量は4万5,600tで、前年産に比べ5,500t（14%）増加。
令和 元	【春植え】 ○作付面積は7万2,000haで、前年産に比べ2,000ha（3%）減少。 これは、主に北海道において、小麦や小豆に転換されたこと等による。 ○10a 当たり収量は3,270kgで、前年産に比べ280kg, 9%上回った。 これは、主に北海道において、生育期間全般において天候に恵まれ、いもの肥大が良好であったためである。 ○収穫量は235万7,000tで、前年産に比べ14万2,000t（6%）増加。 【秋植え】 ○作付面積は2,410haで、前年産に比べ100ha（4%）減少。 これは、長崎県において、他野菜への転換があったこと等による。 ○10a 当たり収量は1,730kgで、前年産に比べ90kg（5%）下回った。 これは、鹿児島県において、植付け後の高温の影響で生育が抑制されたためである。 ○収穫量は4万1,800tで、前年産に比べ3,800t（8%）増加。
2	【春植え】 ○作付面積は6万9,600haで、前年産に比べ2,400ha（3%）減少。 これは、主に北海道において、小豆やいんげんに転換されたこと等による。 ○10a 当たり収量は3,110kgで、前年産に比べ160kg, 5%上回った。 これは、主に北海道において、6月後半の低温、日照不足等の影響により、着いも数が少なくなったためである。 ○収穫量は216万5,000tで、前年産に比べ16万26,000t（8%）減少。 【秋植え】 ○作付け面積は2,310haで、前年産にくらべ100ha（4%）減少。 これは主に生産者の高齢化による作付中止や他野菜への転換があったためである。 ○10a 当たり収量は1680kgで、前年産に比べ50kg, 3%下回った。 ○収穫量は38,900tで、前年産に比べ2900t（7%）減少。

年産	作 柄 概 要
3	【春植え】 ○作付面積は68,500haで、前年産に比べ1,100ha（2％）減少。 ○10a 当たり収量は3,120kgで、前年並みとなった。 主産地の北海道においては7月は降水量が少なく、収穫が早い生食用の肥大が抑制され影響を受けた。8月以降は降水量が確保されたため、収量は前年並みに回復した。 ○収穫量は213万9000 t で、前年産に比べ2万8000t（1％）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,400haで、前年産に比べ90ha（4％）増加した。これは、鹿児島県において、かんしょからの転換があったためである。 ○10a当たり収量は1,510kgで、前年産に比べ170kg（10％）下回った。 これは、長崎県において、9月下旬から10月下旬にかけて高温・少雨で推移したことから、肥大が抑制されたためである。 ○収穫量は3万6,300tで、前年産に比べ2,600t（6％）減少した。
4	【春植え】 ○作付面積は6万9,100haで、前年産に比べ600ha（1％）増加。 ○10a当たり収量は3,250kgで、前年産に比べ130kg（4％）上回った。 ○収穫量は224万5000 t で、前年産に比べ10万6000 t （5％）増加。 主産地の北海道において、需要の高まりから作付面積が増加し、気候も平年並みに推移したことから、前年産に比べ生産量が増加した。 【秋植え】 ○作付面積は2,260haで、前年産に比べ140ha（6％）減少した。これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったためである。 ○10a当たり収量は1,690kgで、前年産に比べ180kg（12％）上回った。 これは、前年産が不作であった長崎県において、生育が順調だったこと等による。 ○収穫量は3万8,300tで、前年産に比べ2,000t（6％）増加した。
5	【春植え】 ○作付面積は6万9000haで、前年産に比べ100ha（1％）減少。 ○10a当たり収量は3,390kgで、前年産に比べ140kg（4％）上回った。 ○収穫量は234万トンで、前年産に比べ9万5000 t （4％）増加。 主産地の北海道において、植付後の好天により初期成育が確保され、それ以降も天候にも恵まれたため、着いも数が多くなり、前年を上回る収量となった。

資料：統計部「野菜生産出荷統計」

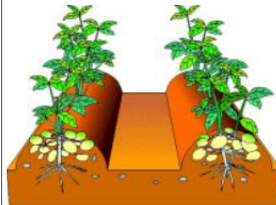
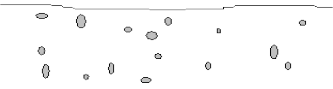
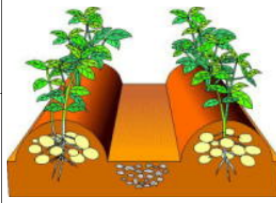
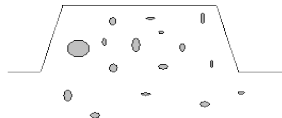
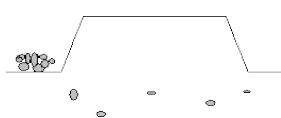
都道府県からの聞き取りによる地域作物課調べ

キ ばれいしょの機械化体系(ソイルコンディショニング栽培技術)

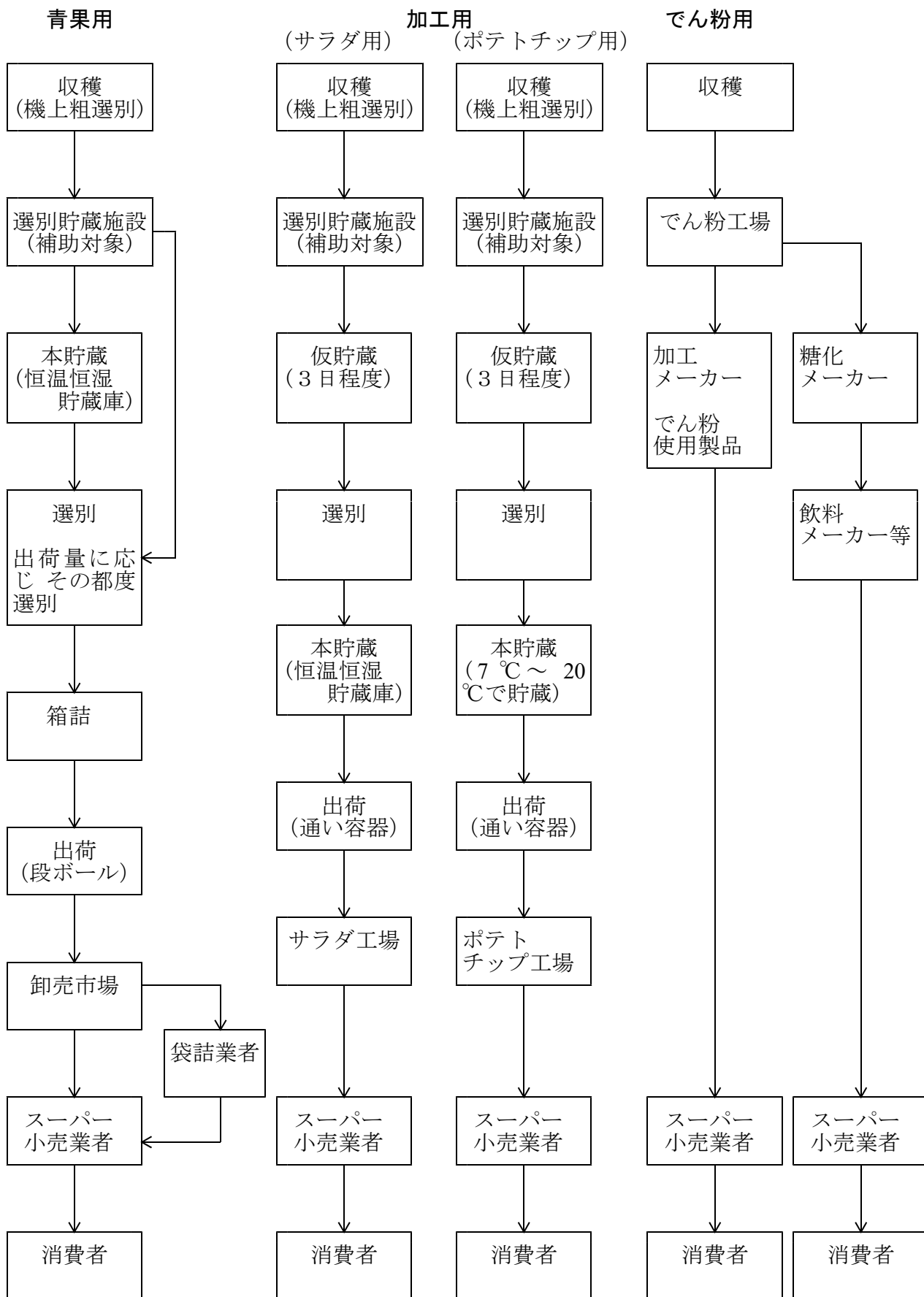
- ソイルコンディショニング栽培体系は、あらかじめ作土から石・れき・土塊を取り除き、うね立てした上で播種するため、品質の向上と収穫作業の大幅な省力化が期待できる作業体系。

主な効果 ・培土をしないためいもを傷めない ・いもの肥大・大きさが均一 ・いもの変形が少ない ・緑化いもが少ない

- 一方で、導入に当たってはセパレータ等高価格な作業機の販売価格の低減や日本の土壌、気象条件に合った利用体系の確立を図る必要がある。

		耕起・整地		播 種	(生育状況)	収 穫	選 別
		プラウ ハロー ロータリー		プランター		ハーベスタ（1 畦）	機上選別
現 行 体 系	作業 機 械						
	作業 の 特 徴 ・ ほ 場 の 状 況						
ソ イ ル コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ	作業 機 械						
	作業 の 特 徴 ・ ほ 場 の 状 況	2畦分の土を寄せ、大きな畦を形成。 	砕土と同時に石や土塊を分離。大きな石はほ場外に廃棄、小さな石は畦間に集積。 	播種と同時に培土も完成させる。播種深さは 15 ～ 20cm。 		ハーベスタ（2 畦・伴走車） 	粗選別施設で効率的に選別 
						ほ場内に収穫時の打撲の原因となる石等がないため、従来の 3 ～ 4 倍の速さで収穫可能。	作業員を集中できるため効率的。 選別作業の外部化も可能。

ク ばれいしょの流通体系



ケ 令和4年産ばれいしょ収穫量上位100市町村

	都道府県名	市町村名	作付面積	収穫量	出荷量	順位	都道府県名	市町村名	作付面積	収穫量	出荷量
			ha	t	t				ha	t	t
1	北海道	帯広市	3,540	119,900	105,000	51	北海道	由仁町	172	7,060	2,190
2	北海道	斜里町	2,530	109,200	104,200	52	北海道	新得町	169	6,240	5,270
3	北海道	芽室町	3,140	107,100	99,500	53	北海道	洞爺湖町	184	6,160	5,920
4	北海道	網走市	2,290	97,900	91,900	54	北海道	千歳市	151	6,150	2,260
5	北海道	小清水町	2,090	93,700	90,700	55	北海道	剣淵町	163	6,130	5,170
6	北海道	清里町	2,050	91,500	87,300	56	北海道	富良野市	186	5,930	5,300
7	北海道	大空町	1,910	87,500	77,700	57	北海道	旭川市	150	5,590	5,120
8	北海道	幕別町	2,510	81,900	75,700	58	北海道	森町	190	5,510	4,990
9	北海道	北見市	1,780	77,300	65,800	59	北海道	名寄市	138	4,760	3,930
10	北海道	更別村	1,990	76,000	72,200	60	北海道	せたな町	160	4,480	3,600
11	北海道	士幌町	2,050	75,800	68,300	61	北海道	士別市	129	4,480	3,850
12	北海道	音更町	2,160	74,200	69,300	62	鹿児島県	天城町	208	4,040	3,850
13	北海道	美幌町	1,280	53,500	48,800	63	青森県	横浜町	128	3,650	3,290
14	北海道	中札内村	1,030	43,200	39,700	64	鹿児島県	西之表市	121	3,630	3,440
15	北海道	倶知安町	1,170	39,900	33,900	65	北海道	中富良野町	110	3,520	2,980
16	長崎県	雲仙市	1,360	36,800	32,100	66	北海道	石狩市	111	3,510	2,900
17	北海道	鹿追町	980	34,200	28,700	67	鹿児島県	南大隅町	113	3,280	3,190
18	北海道	訓子府町	717	33,100	27,100	68	北海道	黒松内町	93	3,240	1,390
19	北海道	美瑛町	788	31,200	25,700	69	北海道	長沼町	88	3,140	1,800
20	北海道	豊頃町	901	29,600	27,400	70	北海道	むかわ町	90	2,970	2,640
21	鹿児島県	長島町	983	27,200	25,800	71	熊本県	八代市	106	2,860	2,500
22	北海道	清水町	867	26,500	23,600	72	北海道	江別市	83	2,810	2,430
23	北海道	上士幌町	700	24,800	23,000	73	北海道	遠軽町	75	2,800	2,560
24	北海道	京極町	678	24,000	21,400	74	北海道	厚真町	77	2,540	2,130
25	長崎県	南島原市	884	23,900	21,400	75	北海道	蘭越町	65	2,220	1,880
26	北海道	浦幌町	719	21,900	20,800	76	青森県	東北町	80	2,180	1,980
27	北海道	津別町	530	19,800	17,300	77	北海道	岩見沢市	56	1,820	1,130
28	北海道	本別町	588	19,100	18,100	78	北海道	北広島市	52	1,800	1,380
29	北海道	真狩村	529	18,000	15,700	79	鹿児島県	錦江町	51	1,800	1,740
30	長崎県	諫早市	610	17,800	16,000	80	青森県	三沢市	78	1,790	1,510
31	北海道	留寿都村	473	17,000	15,600	81	北海道	当別町	53	1,660	1,500
32	北海道	置戸町	340	15,700	12,200	82	北海道	湧別町	48	1,610	1,450
33	北海道	弟子屈町	411	13,800	13,000	83	広島県	東広島市	126	1,510	527
34	北海道	厚沢部町	425	13,600	5,530	84	北海道	深川市	39	1,490	478
35	北海道	上富良野町	367	13,100	10,400	85	北海道	伊達市	43	1,450	1,210
36	北海道	中標津町	366	12,100	9,250	86	北海道	安平町	38	1,410	1,350
37	北海道	大樹町	308	11,900	8,200	87	北海道	芦別市	42	1,230	304
38	北海道	今金町	416	11,600	9,030	88	北海道	豊浦町	32	1,100	1,010
39	北海道	池田町	314	11,000	9,630	89	北海道	美深町	30	1,080	976
40	北海道	喜茂別町	282	9,700	7,850	90	北海道	壮瞥町	34	1,050	959
41	鹿児島県	和泊町	620	9,610	7,770	91	北海道	日高町	32	1,050	988
42	北海道	恵庭市	244	9,040	7,380	92	北海道	八雲町	37	962	576
43	鹿児島県	知名町	583	9,010	8,560	93	北海道	上川町	31	955	874
44	北海道	栗山町	186	8,790	550	94	千葉県	芝山町	39	936	758
45	北海道	共和町	253	8,710	8,220	95	北海道	江差町	36	936	846
46	北海道	南富良野町	245	8,600	4,730	96	長崎県	平戸市	34	919	526
47	北海道	ニセコ町	237	8,100	6,960	97	静岡県	湖西市	35	840	738
48	静岡県	浜松市	263	7,530	6,720	98	北海道	赤井川村	24	807	723
49	北海道	函館市	285	7,410	6,730	99	北海道	乙部町	32	800	733
50	北海道	足寄町	207	7,080	7,060	100	北海道	標津町	23	667	511

資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別データ(年産)」